

## 「5-アミノレブリン酸を用いた末梢血循環がん細胞の検出法確立にむけたパイロット研究」について

ALA 先端医療学社会連携研究部門 谷 憲三朗

本研究では、5-ALA の性質を利用して末梢血循環がん細胞を高感度に検出し、種々の解析のために分取するための新規診断・解析手法を開発することを目的としています。具体的には、①がん細胞を 5-ALA で処理し、末梢血循環がん細胞を蛍光ラベルする条件を最適化します。続いて、②5-ALA により蛍光ラベルされた末梢血循環がん細胞の検出感度や精度、分取後の細胞の遺伝子変異の有無や生物学的活性等を従来法と比較することで、診断や更なる解析における優位性について検討します。さらに、③転移がん細胞と臨床的再発・悪化の関連性を検討します。本研究により、再発を含むがんの早期での検出法の開発が可能となり、抗がん剤等の早期投与による治療予後改善に繋がることが期待されます。本研究ではがん（固形腫瘍・血液腫瘍）患者を対象とし、5-ALA により蛍光ラベルされたがん細胞の蛍光検出にはフローサイトメトリー法を使用し、現在一般に多く用いられている ClearCell FX システム（シンガポール Clearbridge Biomedics 社）を従来法とし、本方法との比較検討を行います。本研究はその結果を基に多数患者を対象とした体外診断法開発を目的とした臨床性能試験を実施するための少数患者でのパイロット研究です。この研究は東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

### 1. 研究の対象となる方

本研究では、当院で実施していた「患者検体を用いた HTLV-1 感染細胞の包括的な性状解析」（24-34-1004）の研究に試料・情報をご提供いただき、別研究への二次利用についてご同意いただきました患者様 30 名分の試料及び情報も利用させていただきます。

### 2. 研究に用いる資料・情報の種類

試料：ヒト末梢血球

情報：診療情報

### 3. 研究期間

平成 29 年 10 月 19 日～平成 32 年 3 月 31 日まで

### 4. 研究協力の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の方の代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはございません。

## 5. 研究組織

### <研究責任者>

谷 憲三郎 ALA 先端医療学社会連携研究部門 特任教授

### <所内研究従事者>

東條 有伸	附属病院	血液腫瘍内科	教授
篠崎 大	附属病院	外科	准教授
高橋 聡	附属病院	血液腫瘍内科	准教授
今井 陽一	附属病院	血液腫瘍内科	准教授
小林 誠一郎	附属病院	血液腫瘍内科	助教
土方 康基	附属病院	先端診療部	助教
宮本 将平	ALA 先端医療学社会連携研究部門		特任助教
廣瀬 理沙	ALA 先端医療学社会連携研究部門		特任研究員

### <学外研究従事者>

井上 啓史	高知大学医学部泌尿器科学講座	教授
花崎 和弘	高知大学医学部外科学講座(外科 1)	教授
奥山 隆平	信州大学医学部皮膚科	教授

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

### <問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究機関名：東京大学医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門

研究責任者：特任教授 谷 憲三郎

電話番号：03-6409-2167